

第六次総合計画の策定に係る第2回市議会との意見交換の実施結果

実施概要

実施日時

令和5年2月17日（金）午後1時30分～3時30分

実施内容

- めざすまちの未来像に込める想いやニュアンス（案）に関する意見交換
めざすまちの未来像…第五次総合計画の将来の都市像
- まちづくりの基本方針（案）に関する意見交換
まちづくりの基本方針…めざすまちの未来像を実現するための方針

実施結果（いただいた御意見の一部のみを順不同で掲載しています）

めざすまちの未来像に込める想いやニュアンス（案）に関する意見交換

- 質の高い教育を求める声があるため、教育に関する事項を加えると良い
- 年齢や障がい、国籍以外にも「性別」を問わず希望する暮らしを叶えられるまちづくりが必要
- 古き良き神社や仏閣などが多数あるため、そのことを加えると良い
- 財政的な視点（お金に関すること）についても加える必要がある
- 「つながり」を創ることには一定数の抵抗を感じる人がいるので考慮した方が良い
- めざすまちの未来像に込める想いやニュアンスには一貫性を持つ必要がある
- 地域コミュニティの運営などさまざまな場面で「楽しさ」が必要である

まちづくりの基本方針（案）に関する意見交換

- 市民の思い描くまちづくりは多種多様である。様々な意見を聞いて設定してほしい
- 幅広い年齢層の「自分らしさ」の実現を応援してもらいたい
- 「文化財の保護」や「スポーツ施設の整備」を加えてほしい
- 定住者を増やすという視点も必要である。そのためには様々な年代に対し本市独自の施策が必要であり、限りある資源をどこに集中投資するのかを明確にすると良い
- 行政の思いを提示し、それに対して議会の意見を出したい